

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37907
事業名	市有建築物特定天井対策費					
評価担当課	所属名	都)建築部 建築保全課				
	課長名	東山 葉一	担当者名	山内 崇嗣	電話番号	011-211-2811
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	特定天井のある既存の市有建築物を利用する市民の安全を確保する。			
		長期	特定天井のある既存の市有建築物を利用する市民の安全を確保する。			
	取組内容	市有建築物を利用する市民の安全を確保するため、既存の市有建築物の特定天井について、脱落防止対策を実施する。				
	実施結果	教育文化会館ほか7施設の実施設設計及び旭山公園通地区センターほか4施設の改修工事を実施した。				
事業実施における工夫点	市有建築物保全推進事業と実施時期を合わせることができ施設は同時に施工し、工事に伴う休館期間を極力短縮するとともに、工事費の節減を図る。					
対象者	市有建築物を利用する市民	開始	平成27年度	終了	令和7年度	
関連法令・条例・要綱等	建築基準法					
他都市の状況	大阪市、名古屋市、京都市などの他の政令市等においても、同様に特定天井対策事業を行っている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	414,458	609,000	577,531	238,000
うち特定財源	365,544	443,448	268,304	159,444
人工	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)	428,858	623,400	591,931	252,400
事業費の内訳	令和3年度決算	○委託料 25,933千円(設計・工事監理委託料) ○請負工事費 548,077千円 ○その他 3,521千円		
	令和4年度予算	○委託料 27,720千円(設計・工事監理委託料) ○請負工事費 207,818千円 ○その他 2,462千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	特定天井の脱落防止対策に着手した施設数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3	5	4	4	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	特定天井の脱落防止対策に着手した施設の割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	78%	88%	86%	94%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	既存の市有建築物の特定天井脱落防止対策のため、8施設の実施設設計、5施設の改修工事を行い、市有建築物を利用する市民の安全確保を図った。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	対象施設全体のボリュームを考慮しても、対応した施設数は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	実施設計は設計事務所に委託し、改修工事は施工業者に発注しており、いずれも専門性があり、実施主体は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	市民の安全性を確保する目的として、大規模地震の発生時に市有施設の特定天井の脱落を防止する対策を行うことで、ニーズにしていると言える。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	施設の利用状況によって施工時期に制約がかかることから、施設管理者と早めの情報共有を行いながら休館調整を行っていく。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	予約受付時期等を考慮しながら施設管理者と休館調整を行った。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	保全推進事業と調整し、実施設計を1年延期した施設を除き、計画通り実施できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 施設管理者と調整を行った上、引き続き対策に取り組む。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 改修工事の対象施設数が増加するため予算は拡充する。		見直し効果額	0 千円